

旧民法と新民法

旧民法（1898年施行）

新民法（1948年施行）

戸主（夫や父）を中心とする
男性優位の家制度



原則

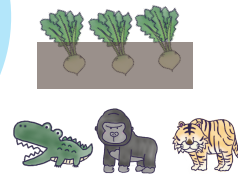


憲法第24条に基づく
男女平等の家族制度

長男が戸主の地位である
とともに単独で相続

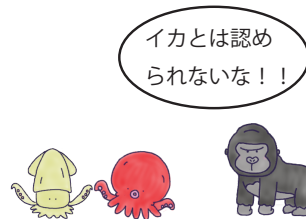


相続

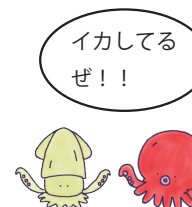


相続の対象になる全員が
均等相続

戸主の同意が必要



結婚



両性の合意のみで成立